

# 1. 海域活断層による防災アセスメント予備調査概要

- ✓ 令和6年能登半島地震を踏まえ、令和4年3月に地震調査研究推進本部が公表した日本海南西部における海域活断層について、被害想定調査の必要性を判断するため、予備調査（地震動想定、津波高等）を実施

## 【調査対象断層】

- ① 白島沖断層帯
- ② 沖ノ島近海断層
- ③ 小呂島近海断層帯
- ④ 対馬東水道断層
- ⑤ 対馬北方沖断層
- ⑥ 対馬上県西方沖断層
- ⑦ 対馬南方沖断層
- ⑧ 七里ヶ曾根断層
- ⑨ 第1五島堆断層帯



## 2. 地震動想定及び津波浸水想定の結果（断層別）

- ✓ 断層別の最大震度や最高津波水位、影響開始時間、浸水面積は以下のとおり予測された。
- ✓ なお、市区町村毎に比較した結果、県内主要活断層による地震の最大震度を超える海域活断層はなかった。

	対象断層	対象区間	最大震度	最高津波水位 (m)	影響開始時間 (分)	浸水面積 (km <sup>2</sup> )
①	白島沖断層帯	北部区間	5強	3.05	11.3	5.88
		南部区間	6弱	3.78	10.2	6.74
		北部区間+南部区間	6強	4.31	9.2	7.39
②	沖ノ島近海断層	-	6弱	5.23	1.3	5.86
③	小呂島近海断層帯	北西冲区間	6強	5.13	1.8	6.31
		東方冲区間	6強	4.65	8.4	7.05
		北西冲区間+東方冲区間	6強	6.29	1.0	7.98
④	対馬東水道断層	-	5強	5.29	10.8	8.56
⑤	対馬北方冲断層	-	4	4.04	45.4	7.09
⑥	対馬上県西方冲断層	-	4	2.82	53.9	6.23
⑦	対馬南方冲断層	-	5弱	2.93	39.4	7.81
⑧	七里ヶ曾根断層	-	4	1.65	56.2	5.70
⑨	第1五島堆断層帯	北部区間	4	1.51	93.1	5.64
		中部区間	4	1.43	153.4	5.50
		南部区間	4	1.43	362.9	5.47
		北部区間+中部区間	4	1.75	90.4	5.83
		中部区間+南部区間	4	1.71	131.9	5.71
		北部区間+中部区間+南部区間	5弱	1.76	90.2	6.03

### 3. 津波浸水想定の結果（市町別）

- ✓ 沿岸の市区町毎に比較した結果、下表に示す5つの海域活断層について、これまで明らかになっている断層による最大クラスの津波高を超えることが予測された。

市区町名		今回調査		津波浸水想定調査（H28年）	
		最高津波水位（m）	津波水位が最大となる地震	最高津波水位（m）	想定する地震
福岡市	西区 ※ 玄界島	4.08	白島沖断層帯 （北部区間＋南部区間）	3.30	対馬海峡東の断層
	東区	4.04	対馬北方沖断層	3.40	対馬海峡東の断層
新宮町		2.93	対馬東水道断層	2.40	西山断層
宗像市 ※ 沖ノ島		6.29	小呂島近海断層帯 （北西沖区間＋東方沖区間）	4.30	西山断層
北九州市	八幡西区	1.92	対馬南方沖断層	1.80	西山断層